

IBM IoT for Energy and Utilities On Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IoT for Energy and Utilities On Cloud は、可視化、IoT データ統合、およびユーティリティー業界のビッグデータ・ニーズを処理するためのデータのような機能とともに、コグニティブ・アナリティクス、記述分析、予測分析および規範的分析のツールを提供します。

1.1 IBM IoT for Energy and Utilities Standard User On Cloud

本「クラウド・サービス」のサブスクリプションには、「SaaS 作成物」により有効化されるユーザー・アプリケーション構成、データ科学および開発の機能および機能性が含まれます。

- a. 管理インターフェースを介して「クラウド・サービス」を管理する機能
- b. システム統合の促進に役立つ、お客様システムと第三者システム間でのデータや結果のインポートおよびエクスポート。
- c. イネープリング・ソフトウェアを使用した、それぞれの環境に対する「カスタマイズされた SaaS 作成物」の作成 (IBM ILOG CPLEX Optimization Studio は除く)。
- d. 「カスタマイズされた SaaS 作成物」の作成中における「気象コンテンツ」の利用。
- e. 異なるソースからのデータの統合および視覚化
- f. データ分析
- g. レポート作成およびコラボレーション

1.2 IBM IoT for Energy and Utilities Decision Optimization User on Cloud

このサービスにより、お客様はイネープリング・ソフトウェアである IBM ILOG CPLEX Optimization Studio を使用した、それぞれの環境に対する「カスタマイズされた SaaS 作成物」を作成できます。

1.3 IBM IoT for Energy and Utilities Limited User on Cloud

このオフリングのユーザーは以下の機能へのアクセスのみ有します。

- a. 「制限付きユーザー」は、システムにアクセスし、ダッシュボードなどの読み取り専用機能を使用することができます。
- b. レポートをダウンロードするか、または事前定義されたレポートを生成することができます。

1.4 IBM IoT for Energy and Utilities Asset Analytics On Cloud

「クラウド・サービス」のサブスクリプションには、以下の機能が含まれます。

- a. 資産分析は、「クラウド・サービス」で管理できる資産の最大数を測定および定義するために使用されます。
- b. これにより、「Standard User」が「クラウド・サービス」またはその他のカスタマイズ構築した分析モデルに含まれる資産に関する分析モデルを実行できるようになります。
- c. これにより、「制限付きユーザー」は、資産に関して、「クラウド・サービス」またはカスタマイズ構築に含まれる読み取り専用機能にアクセスできるようになります。

1.5 IBM IoT for Energy and Utilities Weather Data On Cloud

「クラウド・サービス」のサブスクリプションには、以下の機能が含まれます。

- a. 「SaaS 作成物」で使用するための、アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を介した「気象コンテンツ」へのアクセス
- b. 「クラウド・サービス」で利用できる「気象コンテンツ」可視化機能へのアクセス

1.6 IBM IoT for Energy and Utilities on Cloud for Non-Production Environment

本「クラウド・サービス」により、お客様は、「Standard User」に提供される IoT for Energy and Utilities 機能を使用できますが、非実稼働環境での使用に制限されます。非実稼働の使用とは、テスト、性能調整、障害診断、内部ベンチマーク、ステージング、品質保証活動、および公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の「クラウド・サービス」オフファリングに対する追加または拡張の開発など、社内の非実稼働活動と定義されます。

1.7 セットアップ・サービス

1.7.1 IBM IoT for Energy and Utilities Setup On Cloud

このセットアップ・サービスを使用すると、ユーザーおよび資産に対する「クラウド・サービス」の請求期間の開始前に「クラウド・サービス」をアクティブ化することができます。「User」はアクティブ化の期間中「クラウド・サービス」へアクセスできません。

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1400256238509>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa> にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおり適用されます。サービス・レベル目標

本「クラウド・サービス」に対する「サービス・レベル目標」は以下のとおりです。

- 予定された定期保守時間帯以外の可用性: 99.5%
- Web ページ・アクティビティが起きていることを示す最大応答時間: 5 秒

サービス・レベル目標は目標であり、お客様に対してなんら保証するものではありません。IBM は、「サービス・レベル目標」を満たさない場合でも、お客様に返金、割引、またはその他の救済措置を行うものではありません。

3. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、電子メール、オンライン・フォーラム、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM の IBM Software as a service support guide (https://www-01.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html) には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「許可ユーザー」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた特定の「許可ユーザー」ごとに、個別に専用のエンタイトルメントをいずれかの手段により取得しなければならないものとします。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「同時ユーザー」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。1「同時ユーザー」とは、ある特定の時点で「クラウド・サービス」にアクセスしている 1 人のユーザーをいいます。当該ユーザーが複数回「クラウド・サービス」に同時アクセスしているかどうかに関わらず、当該ユーザーは、1「同時ユーザー」としてカウントします。お客様は、お客様の「PoE」または「取引文書」に記載された課金期間中に、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」に同時にアクセスする「同時ユーザー」の最大数のエンタイトルメントをいずれかの手段により取得しなければならないものとします。
- 「資産」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「資産」とは、管理対象となる、あらゆる有形リソースまたは項目をいいます。これには、実稼働設備、施設、輸送機関、IT ハードウェアおよび IT ソフトウェアが含まれます。「クラウド・サービス」で固有 ID を保持するリソースまたは項目は、別個の「資産」となります。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」がアクセスまたは管理する「資産」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

4.2 セットアップ料金

1 回限りのセットアップ料金は、発注された各セットアップ・サービスに対して「取引文書」に記載された料金で請求されます。

4.3 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントを超える場合には、かかる超過が生じた月の翌月に、「取引文書」に記載された料金で超過料金が請求されます。

4.4 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

5. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。更新には、見積書に記載されたとおりに年次の値上げが適用されます。「クラウド・サービス」の営業活動終了に関する IBM 通知を受領後に自動更新が行われた場合、当該更新期間は、現在の更新終了または発表された営業活動終了日のいずれか早期に到来する日に終了します。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

6. 追加条件

6.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

独自の判断を行使する代わりに、「クラウド・サービス」およびその「アウトプット」に依拠しないものとします。

「クラウド・サービス」により特定される留意事項は推奨目的であって、お客様または「クラウド・サービス」のユーザーの専門家としての判断に代わるものではありません。「クラウド・サービス」のユーザー自身の経験に基づいて、考慮に入れるべき一連の対策が、「クラウド・サービス」で特定されたもの以外に存在する場合があります。

「クラウド・サービス」は、自らの職務の範囲内で行動する適格な要員を支援するためにのみ使用します。またこうした要員のみが「クラウド・サービス」の利用を許可されます。

「クラウド・サービス」には、推奨される各オプションに関連する代替オプションに関する情報は含まれません。こうしたオプションは包括的なプランの重要な構成要素であり、判断を下す際に慎重に検討する必要があります。

6.2 イネーブリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」を使用するには、お客様がご自身のシステムにイネーブリング・ソフトウェアをダウンロードする必要があります。イネーブリング・ソフトウェアにより、「クラウド・サービス」の使用が促進されます。お客様は、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネーブリング・ソフトウェアを使用することができます。イネーブリング・ソフトウェアは現状のまま提供されます。

- IBM Cognos Framework Manager
- BM Data Server Runtime Client
- IBM SPSS Modeler Premium
- IBM SPSS Collaboration and Deployment Services
- IBM SPSS Statistics
- IBM SPSS Data Access Pack
- IBM Integration Bus
- IBM ILOG CPLEX Optimization Studio

6.3 IBM SPSS Data Access Pack

「IBM SPSS Data Access Pack」は、「イネーブリング・ソフトウェア」である「IBM SPSS Modeler Premium」による使用に限定して提供されます。

お客様がバックアップ、リカバリーおよび許可された構成など「IBM SPSS Data Access Pack」の管理機能を実行することを目的として「IBM SPSS Data Access Pack」にアクセスする場合を除き、お客様またはアプリケーション、プログラムもしくはデバイスのいずれも「IBM SPSS Data Access Pack」サービスの直接使用やサービスへの直接アクセスを許可されていません。

6.4 「イネーブリング・ソフトウェア」の使用

SaaS 作成物

- 「SaaS 作成物」 – 以下を含む資料をいいます。予測可能モデル、ビジネス規則、メッセージ・フロー、ビジネス・インテリジェンス・モデル、レポート、アクティブ・レポート、ダッシュボード、マスター・データ管理モデル構造、データ・スキーマ、カスタム・ユーザー・インターフェース。ただし、これらに限定されません。事前に定義され、事前に構成された「SaaS 作成物」は「クラウド・サービス」に含まれます。
- 「カスタマイズされた SaaS 作成物」 – 修正された「SaaS 作成物」または完全に新規の「SaaS 作成物」をいいます。

お客様は「SaaS 作成物」に含まれるいかなる著作権情報と表示も変更したり、削除したりできません。

「SaaS 作成物」および「カスタマイズされた SaaS 作成物」は、「クラウド・サービス」との使用でのみ可能であり、単独では使用できません。「クラウド・サービス」は、「カスタマイズされた SaaS 作成物」の作成または検証に関して、対象分野の専門知識を提供しません。「カスタマイズされた SaaS 作成物」の「クラウド・サービス」への導入は「クラウド・サービス」とは別であり、個別のサービスを必要とする場合があります。

IBM は、「カスタマイズされた SaaS 作成物」に関していかなるサポート義務も負いません。「クラウド・サービス」の保証は、「カスタマイズされた SaaS 作成物」には適用されません。

「SaaS 作成物」は現状有姿で提供され、権原の保証、権利不侵害または不干渉に関する保証、ならびに商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証および条件を含む、明示または黙示のいかなる保証もされません。

お客様は、「SaaS 作成物」を修正または完全に新規の「SaaS 作成物」を作成する場合にのみイネーブリング・ソフトウェアを使用できます。(以下「カスタマイズされた SaaS 作成物」と総称します。)お客様による「クラウド・サービス」へのアクセスが終了した場合、「SaaS 作成物」の使用も終了になります。また、お客様はお客様のシステムからすべての「SaaS 作成物」を削除し、すべてのコピーを破棄しなければなりません。

7. IBM「気象コンテンツ」の追加条件

「気象コンテンツ」とは、過去の気象データおよび気象予報データ(予報、天気図、注意報・警報および図表を含みますが、これらに限定されません。)をいいます。

7.1 サービスの終了

お客様のサブスクリプションの満了または終了と同時に、お客様は、ただちに「気象コンテンツ」の使用をすべて中止し、すべての「気象コンテンツ」をお客様のシステムからすみやかに削除するものとします。

7.2 利用に関する制限

「気象コンテンツ」のお客様による使用は、お客様の社内使用にのみ制限されます。お客様は、以下のいずれも複製、再配布、再送、実演、譲渡、再使用許諾、外部に表示または展示することはできません。

- 「気象コンテンツ」の全部または一部
- 「気象コンテンツ」を使用した結果として到達した何らかの結果、結論または洞察で(以下「派生コンテンツ」といいます。)、過去、現在または未来の天候や大気の状態に関する情報またはその分析を提供することを本質的な目的として、直接・間接に関わらず、形式・方法を問わず、第三者(お客様の顧客、ビジネス・パートナーまたは製品のエンド・ユーザーなど)にアクセスが提供されるもの(以下「第三者対応アプリケーション」といいます)。お客様が「第三者対応アプリケーション」の一部として「派生コンテンツ」の表示を実行または許可する限りにおいて、お客様は、「派生コンテンツ」や「派生コンテンツ」により促進された、またはそれに関連したあらゆる製品およびサービスが、IBMにより提供、裏付け、支援、認定、承認されることを、直接的にも間接的にも示唆するものであってはなりません。

お客様は、「クラウド・サービス」および「気象コンテンツ」を、ターゲットを絞った広告やトリガー方式の広告として使用すること、テクノロジーに接する消費者ユーザーの所在地に関連する「気象コンテンツ」に基づいた広告(天気が誘因になる広告など)を提供すること、また「クラウド・サービス」および「気象コンテンツ」をマーケティングやコンテンツ・ベースの意思決定のために利用しないものとします。

お客様は、「気象コンテンツ」を、テレビやラジオ放送(無線、有線、衛星放送など)、または、あらゆる方法や媒体を通したり、使用したりして配信されたサブスクリプション方式のストリーミング・サービス(Sling Television、Netflix、Hulu、Amazon Prime Video、HBO GO、またはラジオに相当するものなど)により提供される種類のオフラインの一部として使用しないものとします。

お客様は、APIならびに関連する仕様および文書はIBMの機密情報であり、本「サービス文書」の条件に従わない使用および開示は認められないことに同意します。

お客様は、IBMが、自己の裁量で、「気象コンテンツ」のスタイル、形式、または内容を随時変更することができ、また「気象コンテンツ」の部分を除くまたは中止できることを了承します。ただし、IBMは、「気象コンテンツ」の重大な変更に関して、同様の立場にある顧客に連絡する際には、連絡先のお客様を含めるものとします。

「気象コンテンツ」は、本「サービス文書」の条件に従って「クラウド・サービス」と関連する場合のみ使用することができます。「気象コンテンツ」は、本「クラウド・サービス」と別個に使用することはできません。

7.3 国別の利用制限

お客様は、お客様による「気象コンテンツ」の使用が許可されるか否かを自ら判断し、必要な場合は、「気象コンテンツ」を実行または使用する国や地域において、必要なすべての使用許諾、許可、承認もしくは認可を政府機関から取得する責任を負います。またIBMの本「サービス文書」に基づく義務は、上記を条件とします。

7.4 現状有姿のデータ

気象および気象関連の情報、予報および注意報・警報はすべて、現状有姿(情報が発表される時点のデータ)で提供されます。IBMは、かかるデータの正確性、信頼性、完全性、および可用性について責任を負いません。